

1 本時の目標

- ・自分たちの対話の実態を確認することを通じ、どのように対話をしていけばより考えを深めることができるのかを考え、モデルを用いて今後の対話が充実するように意識できるようにする。

2 本時の展開

学習活動	○主な発問 ◇問題意識をつなげる発問 ・予想される児童の反応	●支援◆留意点 【評価の視点】
1 単元の確認と 本時のめあてを たてる。	<p>○グループでの学習について、みなさんに以前アンケートを取りました。その結果です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの学習で考えが深まるという結果が出てるね。 ・でも考えを深めるための話し合い方は分からないという人が多い様子も見られるよ。 <p>○これはみなさんの授業の様子です。何をしている場面ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べたことを話し合っている。 ・社会の授業の様子だね。 ・話し合いはしているようだけど、深まっている感じがしないな。 ・どうしたらもっと話し合いで考えを深められるのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>考えを深める対話の在り方を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆スライドを用いて自分たちの対話の実態を確認できるようにする。 ◆グラフを基に課題を共有したうえでグループの対話に着目するよう視点を与える。 ◆自分たちの授業の様子を写し、対話場면을想起できるようにする。
2 自分たちの対話の様子を文字に起こした資料を基に、どのような対話をしているのか捉える。	<p>○話し合うことで考えを深めることができると多くの人は思っているようですが、どうしたら考えを深める話し合いになるかが分からない人が多いようです。実際にみんなはどのように話し合いをしているのでしょうか。みんなが話し合っていた時のあるグループの記録です。このグループの対話の内容を3種類に色分けして調べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くが調べてわかった事実だね。 ・教科書の内容をそのまま話すことが多いようだ。 ・同じ内容を何人かの人が話しているよ。 ・考えた意見が対話の中であまり見られない。 ・他の人の意見に付け足すやりとりが見られないな。意見を交流するだけで終わってるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定のグループの話し合いの様子を提示することで、自分たちの実際の話し合いの様子を客観的にとらえ、改善を考えることができるようにする。 ◆提示したグループの話し合いを否定するのではなく、よりよくするためにどうしたらいいのか、という視点から調べるように伝える。 ●対話の内容を調べてわかった事実、事実を基に考えた内容、その他の3種類に色分けすることで、視覚的に判断できるようにする。
3 実態を調べてわかったことを交流する。	<p>○対話で自分たちの考えを深めていくためには何が必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ調べたことを話すだけではなく、そこから考えたことを話していくことが大切だ。 ・同じ意見だけでなく、違う視点から意見を言うことも必要だね。 	<ul style="list-style-type: none"> ●調べてわかったことは事実を基にしないと考えられないことを確認することで、考えを深める発言だけが重要ではないこと理解できるようにする。

<p>4 モデルを配布し、どのような話し合いをすることが有効か話し合う。</p> <p>5 今後の学習で利用することを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてわかった事実も話し合わないと、考えることはできないから、これも大切にしたいね。 ○もっと事実を基に考えることを話し合うことができるようにするために、話し合う時の視点を明確にしましょう。 ○考えを深めるためには、どのような聞き方をしていけばよかったと考えますか。 ・『◇◇ということがわかりました。ここからどんなことが考えられますか。』『□□という意見を聞いて、付け足しや新しく考えたことはありますか。』『なぜ□□のようにするとよいのですか。』といったやり取りができれば考えられたのではないかな。 ・『みんなの意見をまとめると、◎◎◎◎ということがいえるのではないかと考えます。』という考え方をすることも必要だね。 ○このモデルを使って自分たちで考えを深められるようにしていきましょう。これから生かしたいことを振り返りに書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆課題を確認したうえでモデルを配布する。 ◆司会者用と話し手用の二つの面があることを伝える。 ◆話し合う内容や場面によって、対話の在り方が変わることをモデルを例に示しながら説明する。 ●自分たちの対話を深めるためにどんな視点があったらより良かったのかを考えることで、実際に使う場面をイメージできるようにする。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>考えを深めるためにどのような対話を展開していけばよいか考えている。</p> <p>(ワークシートの記述)</p>
---	---	---

3 板書計画

考えを深める対話の在り方を考えよう。

〈本時の問い〉 豊臣秀吉の行った政策には、どのような意味があるのだろうか。

〈予想〉 ・戦いを避けようとした。 ・農業を大切にしようとした。 ・外国に目を向けた。

話し手	話した内容
先生	秀吉の行った政策にはどんな意味があるのか、調べて分かったことを基にグループで考えましょう。
Dさん	前僕やったからAさんからどうぞ。
Aさん	えっと、他の大名と一向宗の仏教勢力をおさえて天下統一を成し遂げたことと、大阪を中心とした物資の流れをつくって金や銀の鉱山を支配したりすることで収入を確保にした。平定した国々の検地を行い、田畑の広さや土地のよしあし、耕作している人物などを調べて天下統一を目指した。
Cさん	すご〜い。
Bさん	(拍手)
Aさん	前半しかできなかった。
Cさん	(Bさんに発表の順番を促す)
Bさん	金や…銀の鉱山？を支配したりすることで莫大な財力をたくわえて…え〜と〜、海外にも、天下統一した秀吉は海外にも目を向けて中国を征服しようとして二度にわたって大軍を送りました。
Cさん	え〜と〜、大阪を中心とした物資（ぶっし）？
Bさん	ん〜、物資（ぶっし）
Cさん	物資（ぶっし）の流れを作ったり金や銀の鉱山を支配して莫大な財力を蓄えて、田畑を広さやよしあしを調べて、耕作している人物も調べて、収入を確保したものにした。
Dさん	ばくだいな？ばくだいな財力を蓄えたことはよかった。（まとめると秀吉は）資金化した？
ABCさん	あ〜。
Bさん	資金化か〜。
先生	時間です。前を向きましょう。

- ・多くが調べてわかった事実だね。
- ・教科書の内容をそのまま話することが多いようだ。
- ・同じ内容を何人かの人が話しているよ。
- ・考えた意見が対話の中であまり見られない。
- ・他の人の意見に付け足すやりとりが見られないな。意見を交流するだけで終わってるね。
- ・ただ調べたことを話すだけではなく、そこから考えたことを話していくことが大切だ。
- ・同じ意見だけでなく、違う視点から意見を言うことも必要だね。
- ・調べてわかった事実も話し合わないと、考えることはできないから、これも大切にしたいね。